












































“瑞穂の会”は、毎夏に富山県にて行われ 2013 年夏をもってその幕を閉じた、福光 IOX-AROSA 声楽サマーセミナー・特設日本歌曲コースにて研鑽を積んだ、日本歌曲を愛する声楽家とピアニストの集まりで、日本歌曲の研究、解釈、演奏の第一人者である塚田佳男先生を監修に迎え、全国から 90 名を超えるメンバーで構成されています。

瀧廉太郎の登場にはじまる日本歌曲の歴史は、戦中・戦後・現代の作曲家まで受け継がれ、一大山脈が築かれています。

私たちは、歌い手も伴奏ピアニストも日本の歌曲を演奏する以上、日本語による詩の心を大切にするための細やかな感性を磨き、歌い手はその表現のための声のイメージや発語や発音の方法、ピアニストは、詩にふさわしい音色のイメージ、歌とのタイミングの取り方、声量とのバランス感覚を身につけるべく日々研鑽を重ねています。

「日本の言葉で、日本の心を歌う」……日本歌曲の魅力をどうぞお楽しみください。

下記のリストは作曲者の年代順です。当日の演奏順とは異なります。

声楽	ピアノ	曲目 (予定)	作詩/作曲
 宮 富 江	 × 近 藤 陽 子	「沖の鷗に」「忍路高島」	日本古謡/山田耕筈
 後 藤 桂	 × 平 田 雅 子	『雨情民謡集』より I. 捨てた葱 III. 二十三夜 V. 粉屋念仏	野口雨情/山田耕筈
 中 嶋 美 穂	 × 吉 田 和 子	『AIYAN の歌』より I. NOSKAI II. かきつばた III. AIYAN の歌	北原白秋/山田耕筈
 辻 弘 子	 × 田 中 直 子	「みぞれに寄する愛の歌」	大木惇夫/山田耕筈
 山 本 久 代	 × 石 田 瑞 枝	「赤いかんざし」	貴志康一 作詩・作曲
 武 澤 佳 絵	 × 原 な ぎ さ	『日本民謡による十の歌曲』より 「お月さまいくつ (九州地方)」 「貝殻節 (中国地方)」 「ずいずいずっころぼし (東京地方)」	日本民謡/石井 歆
 三 神 博 子	 × 石 井 み か	『日本のおもちやうた』より IV. 海ほおずきと少年 V. 竹とんぼ	岸田衞子/中田喜直
 照 井 咲 枝	 × 田 中 悠 一 郎	『魚とオレンジ』より I. はなやぐ朝 V. 艶やかなる歌	阪田寛夫/中田喜直
 富 田 美 穂	 × 杉 下 純 子	『ほしとたんぼぼ』より 「こだましようか」「わたしとことりとすずと」「こころ」	金子みすゞ/中田喜直
 村 澤 徳 子	 × 藤 波 結 花	「夏のおわり」	村山けいこ/中田喜直
 大 畑 理 博	 × 小 林 美 智	ソプラノとバリトンのための歌曲集 『月曜日の詩集』より 「しあわせ」「ゆびわ」	高田敏子/大 中 恩
 大 森 詩 子			
 西 田 智 朱 子	 × 広 瀬 靖 子	『わがうた』より III. ひぐらし V. 紫陽花	北山冬一郎/團 伊玖磨
 佐 伯 洋 子	 × 今 川 寿 美	「○と△の歌」「翼」	武満 徹 作詩・作曲
 氏 家 和 歌 子	 × 片 岡 和 子	「落葉松」	野上 彰/小林秀雄
 山 田 美 保 子	 × 徳 富 香 恵	「あゝ結婚! (マルチェリーナのタンゴ)」	加藤 直/林 光
 鷹 野 恵	 × 田 中 悠 一 郎	「笑ってもさびしくても」 「悲歌」	吉松奈保子/猪本 隆隆 尼崎安四/猪本
 杉 山 知 勢 子	 × 込 山 今 日 子	『愛する歌』より 「ロマンチストの豚」「さびしいカシの木」	やなせたかし/木下牧子
 片 岡 の り 子			
 中 島 恵 美	 × 原 田 康 子	『愛する歌』より 「ユレル」「雪の街」	やなせたかし/木下牧子
 間 庭 小 枝			
 柴 田 え い 子	 × 都 築 彩 子	『六つの浪漫』より VI. ほのかにひとつ	北原白秋/木下牧子
 丹 羽 京 子	 × 山 崎 範 子	「夕焼け」	高田敏子/信長貴富